

広報かねがさき Kanegasaki

Nov. 2025

11

No. 857

●人と地域が支えあうまち金ヶ崎

Kanegasaki town
Public relations

Happy Halloween!!

CONTENTS

03…金ヶ崎町新町誕生 70 周年

記念特集

14…金ヶ崎町の除雪対策

18…まちの話題

20…秋のイベント

30…町からのお知らせ

31…むし歯のない3歳児

32…face 高橋新一さん

今月の表紙

英語でしゃべろう

ハロウィン祭2025



◆金ヶ崎町公式情報アプリ

かねがさき info をダウンロードして活用しましょう！！

☎ 総務課広報公聴係 (☎ 42-2111)

金ヶ崎町からのお知らせや防災情報が受け取れるスマートフォン向けアプリ「かねがさき info」をリリースしています。頻出するクマの情報や防災情報、生活に関する便利な情報を配信しています。ぜひアプリのダウンロードをお願いします！

金ヶ崎町新町誕生 70 周年

we love かねがさき 70 年のその先に向けて

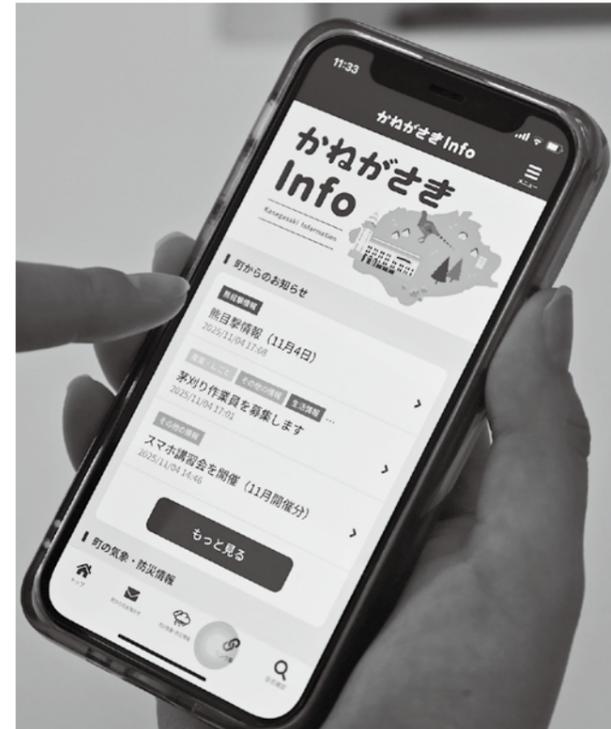


金ヶ崎町は昭和 30 年 3 月 1 日に旧金ヶ崎町と永岡村が合併し、「新金ヶ崎町」として誕生しました。

当時の人口は 17,112 人でスタートし、令和 7 年は 15,077 人(10 月 31 日現在)となった金ヶ崎町。「自立の町」を掲げ、未来に向けての町の魅力を磨き続けました。

今月は 70 周年を記念して 10 月 4 日に行われた新町誕生 70 周年式典や記念講演、金ヶ崎町で輝く人々を紹介します。

▲地域おこし協力隊 佐々木さんデザインロゴ



＜町公式アプリの主な特徴＞

- ・町からの様々なお知らせをアプリで直接受け取ることができます。
- ・町の気象情報（警報以上発令時）や地震情報（震度 4 以上時）、防災情報をアプリから文字情報で確認できます。防災無線が聞き取りづらい場所でも PUSH 通知機能により見逃すことなく情報を受け取れます。
- ・災害時など非常時には音声やサイレンでお知らせすることも可能です。
- ・文字の拡大表示や音声再生ができます。
- ・生活に便利なリンク集が利用できます。
- ・言語設定に対応し、日本語、英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語を選択できます。

アプリの登録方法



多言語対応：English、中文、Indonesia、tiếng việt





年表で振り返る 金ヶ崎町 60 周年からの歩み

2016年（平成28年）からの町の主な出来事をまとめ、歴史を振り返ります。

2016（平成28）年

- 10月 希望郷いわて国体開催。艾幸太選手ウエイトリフティング56kg級クリーン＆ジャーク優勝
- 旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎を活用し、軍馬の郷六原資料館開館
- 12月 宮城県大衡村と友好交流都市協定を締結

2017（平成29）年

- 1月 成人式53年振りに冬開催
- 6月 一般国道4号金ヶ崎区間4車線拡幅事業化決定
- 10月 新国民健康保険金ヶ崎診療所・歯科診療所完成診療開始
- 11月 旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎が町初の国登録有形文化財に登録

2021（令和3）年

- 1月 令和2年の年末から令和3年の年始にかけての大雪で甚大な被害
- 5月 町内医療機関、奥州医師会等関係機関・団体の協力を得て、新型コロナウイルスワクチン接種（日時指定方式）を実施
- 12月 町内で進むデジタル化。町内全域へ光ファイバ網整備完了、小中学校へ一人一台タブレット導入、議会でのタブレット運用・インターネット中継開始
- ふるさと納税 昨年を大きく上回る1億円を突破

2022（令和4）年

- 3月 高橋寛寿町長就任
- 町立永岡幼稚園閉園
- 6月 新型コロナウイルス感染症対策金ヶ崎マラソン特別大会開催
- 8月 岩手ふるさと農業協同組合と地方創生の推進に関する包括協定締結
- 9月 地域おこし協力隊による六原二日町の空き家を活用したLifeBASEオープン
- 12月 新型コロナウイルス感染症対策金ヶ崎町民劇場朗読劇開催

2018（平成30）年

- 3月 「旧岩手県知事公舎洋館・旧千田正家住宅・旧千田正家板倉」が国登録有形文化財に登録
- 4月 金ヶ崎学童保育所を新築し、放課後児童の受け入れ環境充実
- 6月 第89回都市対抗野球全国大会に金ヶ崎町代表トヨタ自動車東日本(株)が初出場を果たす。同大会応援団コンクールファーストステージで、郷土色豊かな応援が光り優秀賞を受賞
- 8月 18歳以下の医療費を無料化し、子育て世代を応援

2019（令和元）年

- 8月 令和元年8月診療分から子ども医療費助成現物給付を小学生まで拡大
- 町内幼稚園及び小・中学校へエアコン設置
- 10月 生涯教育の町宣言40周年記念大会
- 3歳以上の教育・保育の無償化が開始
- 台風19号による農林業被害が多数発生

2020（令和2）年

- 4月 認定こども園南方幼稚園開園
- 5月 「子供の読書活動優秀実践図書館」として、金ヶ崎町立図書館が「文部科学大臣表彰」を受賞
- 8月 令和2年8月診療分から子ども医療費助成現物給付を中学生まで拡大
- 11月 金ヶ崎町民憲章制定50周年記念碑建立・除幕式開催

2023（令和5）年

- 1月 県産ひとめぼれ食味コンテスト「ヒーローグランプリ」で町産ひとめぼれが最優秀賞に輝く
- 4月 新型コロナウイルス感染症により中止していた金ヶ崎火防祭が5年ぶりに復活
- 9月 町が救命サポーターステーションに認定
- 10月 鳥海柵跡国指定10周年記念講演会開催
- 11月 金ヶ崎町芸術文化協会創設50周年

2024（令和6）年

- 3月 岩手県労働局と雇用対策協定締結
- 9月 金ヶ崎町婦人消防協力隊解散
- 11月 町立三ヶ尻小学校創立150周年
- 金ヶ崎町入部少年団本部創設50周年
- 金ヶ崎町内一周駅伝大会が70回目の開催

2025（令和7）年

- 3月 町立三ヶ尻幼稚園閉園
- 六原駅前駐車場供用開始
- 6月 岩手中部工業団地南エリア開発事業に関する協定締結式開催
- 7月 金ヶ崎町停電時携帯電話充電スポット事業者認定書交付式開催
- 8月 戦後80年・金ヶ崎町戦没者追悼式開催
- 10月 新町誕生70周年記念式典開催



町勢功勞感謝状贈呈

これまで町勢の推進に貢献をされた方々へ町勢功勞感謝状贈呈を行いました。



たいら せいこう
平 清幸さん
(藤巻)



さかい ただよし
坂井 忠義さん
(川目)

町道除雪受託業者に令和5年3月まで、30年以上の間、期間雇用として除雪作業に従事し、町道の交通確保に努め、冬期間の安全安心な道路環境の維持に貢献された。

町道除雪受託業者に令和4年3月まで、30年以上の間、期間雇用として除雪作業に従事し、町道の交通確保に努め、冬期間の安全安心な道路環境の維持に貢献された。

及定商店

昭和52年から町内で40年以上にわたり移動販売を行い、買い物弱者に寄り添った営業形態の継続により、地域福祉・高齢者福祉の向上に貢献された。

金ヶ崎産直組合

平成15年から町内産直施設の先駆けとして現在に至るまで20年以上にわたり営業を継続し、多くの農家の農産物販売先として、町内農家の所得確保に寄与したほか、全国麺祭りや収穫祭などのイベント開催にも取り組み、金ヶ崎産農産物の知名度向上に貢献された。

六原産直組合

平成20年から現在まで15年以上にわたり営業を継続し、多くの農家の農産物販売先として、町内農家の所得確保に寄与したほか、町内産の食材を7割以上使用したオリジナル弁当は、健康弁当として岩手県から食育推進貢献者として表彰されるなど、町民の健康意識の向上にも貢献された。

金ヶ崎町郷土芸能保存会

昭和42年に設立されて以来、郷土芸能の魅力発信や普及啓発に精力的に取り組み、昭和56年からは「金ヶ崎町郷土芸能発表大会」を開催しているほか、地域行事や依頼に応じて各地で演舞などを披露するなど、農村文化を作ってきた「郷土の宝」の保存、継承活動に尽力された。

金ヶ崎町新町誕生 70周年記念式典

全ての人々が輝ける町に――



1 金ヶ崎中学校全校合唱 2 式辞を述べる高橋寛寿町長 3 町勢功勞感謝状が贈呈
4 認定こども園南方幼稚園による金ヶ崎太鼓

新町誕生70周年記念式典

金ヶ崎町新町誕生70周年記念式典は10月4日、町文化体育館で行われました。関係団体、金ヶ崎中学校全校生徒ら約700人が出席。町勢功勞感謝状が6団体へ贈呈されました。

高橋寛寿町長は式辞で「地球環境保全などに向き合い、先端技術を果敢に活用し、安心して暮らせる「持続可能な地域社会」の実現に向けて、町民・企業・行政が一体となり、力を合わせて、未来を切り拓いていく町になってまいります」と決意を述べました。式典では金ヶ崎中学校生徒による「大地讃頌」の合唱、町立認定こども園南方幼稚園による「金ヶ崎太鼓」が披露。式典の最後には、新町誕生70周年を記念し製作されたモニュメントがお披露目されました。



新町誕生 70 周年記念モニュメント 「ガンバロウセカイ」

金ケ崎町新町誕生 70 周年記念事業の一環として作成されました。異彩を放つ作家とともに、新しい文化をつくるクリエイティブカンパニー「株式会社ヘラルボニー」の契約作家である本田雅啓さん（PICFA/佐賀県）に依頼し、「夢」「挑戦」などをモチーフにエネルギーを感じる作品を描き下ろしていただきました。

金ケ崎町役場エントランスホールおよび金ケ崎中学校へ展示しています。
(金ケ崎中学校は関係者のみとなりますので一般の方は金ケ崎町役場へお越しください。)



- 1 1 製作者の本田雅啓さん
- 2 2 式典で松田さんからモニュメントの内容について紹介



2



70周年記念講演

70周年記念事業として行われた記念講演では、町出身で株式会社ヘラルボニーの代表取締役/COOの松田文登さんによる『故郷が教えてくれた夢への挑戦』世界は、ここからつながっている』が行われました。

金ケ崎町時代の思い出やそこで感じたこと、家族に関すること、夢を実現させるためにこれまで活動してきたこと、世界で活躍する今だからこそ見えた景色等をわかりやすく講演いただきました。

故郷が教えてくれた夢への挑戦
世界は、ここからつながっている

金ケ崎から世界へ 夢を叶えたこれまでの軌跡

interview



金ケ崎中学校 3年 及川 琉来さん

『夢を叶える』ために

ヘラルボニーさんの講演は1年生の時に金ケ崎中学校で聞いて、今回で2回目でした。金中の先輩が、金ケ崎から世界に羽ばたいて活躍している姿を見て感動しましたし、広い視野を持つには、「目標を持つこと」「夢を諦めないこと」と

という言葉が私の中に響きました。自分も大きな夢を持ち、実現させるために頑張っていきたいです。発表されたモニュメントも素敵で、中学校に飾られるのを楽しみにしています。

子どもたち・保護者と地域の
架け橋になれる場所に



金ケ崎町子育て
支援センター所長
渡辺 理恵さん

これまで社会福祉法人愛護会の保育士として町内外の保育園で勤務し、令和5年から町子育て支援センターで働いています。中学生の時に職場体験で保育園に赴き、無邪気な子どもたちの可愛さに惹かれ、保育の道へ進みました。保育士が保育園以外でも、より身近な環境で子育て支援ができることに魅力を感じています。

子育て支援センターは保育園と違い、普段から家族で利用できるため、その場で子育て相談もできる施設です。各種イベントでは町出身者の保育士さんや教育関係の方、地域の方を講師としてお招きし、様々な経験をすることができます。他のお子さんや保護者とも仲良くなれるし、職員に子育てに関することも相談できます。

金ケ崎町がこれからも子育てがしやすい環境になれるよう活動を続けていきたいです。



外国人の方達と心を通わせ
尊重し合える環境へ



金ケ崎町国際
交流協会副会長
細目 明子さん

金ケ崎町国際交流協会の創立時から30年以上在籍しています。協会では、外国人との交流を目的とした新年会などのイベントのほか、語学や国際理解の講座を行っています。

自分自身、過去にはアマースト町との姉妹都市締結や、中学生の海外研修にも携わり、町の国際交流の歴史にさまざまな形で関わってきました。国際交流の魅力は、相手との違いを見つけたり、異文化にふれたりすることで、自分とは違う他者への理解が進むことだと思います。

これからの国際交流は外国人の方と一緒に暮らしていく関係、『多文化共生』へ徐々に変わっていきます。相手をより深く知り、生活を共にするためには、土台としてまずは仲良くなることが大切です。在住外国人の方が安心して楽しく過ごし、町民との交流がより活発になるように取り組んでいきます。



帰り際の「美味しかった」が
何よりの言葉です



金ケ崎町食生活改善
推進員協議会会長
菊地 美春さん

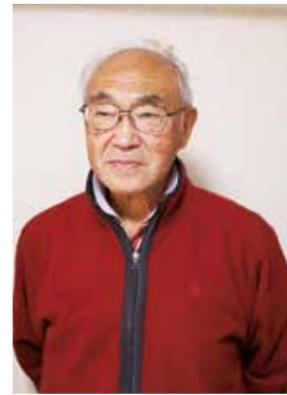
地域の人たちから声をかけていただき、平成13年に町食生活改善推進員協議会(以下食改)に入会して、現在まで20年以上在籍しています。

食改活動の楽しいところは、自分の勉強したことが地域に発信でき、各家庭で健康づくりにつながる事だと思っています。地域の会員たちと定期的に地区生涯教育センターや地域の公民館に集まり、より美味しく、より健康になれる食改善を目指しています。

最近はSNSが発展し、料理情報が手軽に取得できますが、人と人との交流で出来上がった温かくて優しい料理も素晴らしいです。金ケ崎町はお米が美味しい地域ですが、米どころはおかずの味が濃くなる傾向にあります。減塩やフレイル予防を意識して調理し、食事から町内が元気になるように今後も活動を続けていきます。



写真の中の思い出を
未来の笑顔に



写真を取り続けて
半世紀
及川 勇治さん

20歳の頃にカメラをはじめてから、50年以上金ケ崎や県内の様子を撮影し、記録に収めています。風景や動物、そして家族の笑顔の写真を撮り続けてきました。

50年程前にはまだ珍しかった金ケ崎町の白鳥の様子も当時からずっと撮影し、さまざまな企画展や町の文化祭で普段なかなか見られない写真を展示すると、町内外から多くの方に来場いただき、興味深く楽しそうに閲覧してもらっています。

写真は撮るだけではなく、後から見てその時の感動を味わえる良さが魅力です。時間、空間を切り取り、永遠の思い出として一枚の作品として残り続けるため、感動できる写真を飾るようと毎回シャッターを切っています。『一枚の写真を見ながら、みんな笑顔で思い出を語り合う』そんな写真をこれからも撮り続けていきたいです。



受け継いできた伝統を
みんなへ届けたい



生田流宮城派
坂本 中 大 師 範
坂本 知子さん

戦時中に東京から疎開してきた人の中に箏の先生がおり、その方を最初の師匠として小学1年生の頃に習い始めてから、現在まで80年近く箏を弾いています。伝統的な古曲や宮城道雄さん(箏曲家)の曲を大切にしており、中でも「春の海」は特に思い出のある曲です。

三絃と箏、尺八または胡弓が加わって合奏する三曲合奏は迫力があり、音色の美しさは聞いた人達を一瞬で虜にします。演奏する姿勢は、魅せる音楽そのものだと思います。

町芸術文化祭でも披露しており、多くの方に楽しみにいただいています。演奏を聴いて興味を持った方に実際に体験してほしいです。

受け継いできた技術と想いがつながり、これからも金ケ崎で素敵な音色が響き渡れば嬉しいです。



わたしの好きな
金ケ崎

金ケ崎はひとりひとりが輝く素敵なまち。町で活躍する人達に自分の頑張っているところや金ケ崎の好きなところ、魅力、今後の町への想いを聞きました。

みんなの声をきいて 明るい未来の金ケ崎を

金ケ崎町は小さいけど、魅力が詰まった素敵な町だと私は思っています。しかし金ケ崎町に住んでいて、金ケ崎駅、六原駅の無人化や道路の整備が不十分な所があったりと、年々不便さを感じる場面が増えていきます。さらに、町内で唯一の高校である金ケ崎高校も統合される方針が進んでおり、このような状況下では、Z世代が町外へ流出してしまうのは避けられない状況です。実際、私の友人も、将来金ケ崎町に住んで、働きたいと考えている人は多くは居ません。だからこそ、中高生が自分たちの意見を出し合い、「Z世代が輝ける町」をつくっていくことが必要だと思います。そうすれば地域にもっと活気が生まれ、沢山の注目を集め、Uターン移住などが増えて行くのでは無いかと思います。

Z世代がまちづくりに関わることで、町の魅力度も高まり、外からも注目されるような、明るく希望にあふれた町にしていけるのではないかと、私は考えています。



もりかわ
盛川 あかりさん (花巻南高校2年)



有住 龍星さん (地域おこし協力隊)

この町で挑戦する君と 一緒に頑張りたいから

3年前に生まれ育った故郷・金ケ崎へ戻ってきて地域おこし協力隊としての活動をスタートしました。高校生活の3年間を”地域と関わる最後の期間”であると捉え高校生と金ケ崎との接点創出、居場所づくり、学習塾などに挑戦してきました。私がこの3年で様々な挑戦をしてこられたのは、たくさんの町内の方々からの応援・後押しのおかげです。

「まずやってみよう」「助けてやるから」など、良い意味でのお節介な関わりは一步踏みだす勇気になりました。地域おこし協力隊として金ケ崎に戻ることを決意したのも、若者の挑戦を応援してくれる金ケ崎の土壌があると知ったからです。

今、高校のカリキュラムも転換期であり学校外での活動が増えてきています。高校生が地域に関わる機会が高校生の可能性を広げられるのも金ケ崎なら可能だと思います。

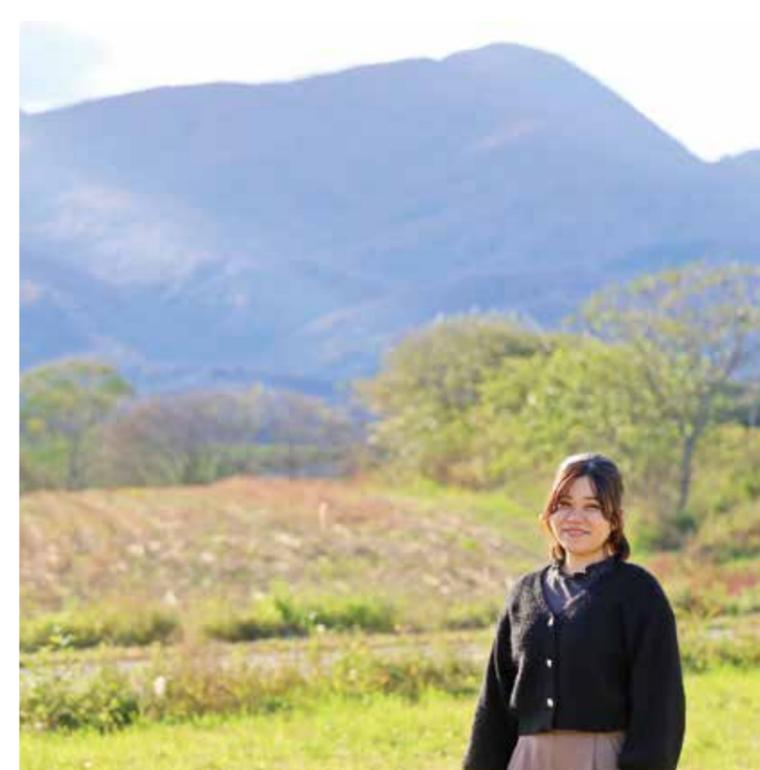
これからも自分も挑戦し続けながら、金ケ崎に関わる中学生・高校生の挑戦を後押しできるよう努力していきます。



私の好きな町の景色が もっと増えたら嬉しいな

金ケ崎町の「空が好き」「自然が好き」「食べ物が好き」「どこかわからない道が好き」これは前から感じていたこと。金ケ崎町の「人柄が好き」「各地区がそれぞれ文化を残し続けているところが好き」「想像以上に広がった金ケ崎町がおもしろい」これは地域おこし協力隊になって気づいたこと。そんな金ケ崎町を皆さんに紹介したり、金ケ崎町を探検しながら私の頭の中で道がつながること、関わった人たちがつながっていたり、新しいつながりが生まれる瞬間を見られることが今幸せです。

時代の変化に合わせて、新たなきっかけを通して盛り上げてほしい。今まであるものも残し続けてほしい。それぞれの良さを取り入れながら皆さんの好きがあふれる町、なんだか心地の良い町、自分らしくいられる町に町内出身の方はもちろん、金ケ崎町に関わってくれた方や興味を持ってくれた方にも感じられる。そんな町になるよう大好きな金ケ崎町の1つ1つを伝え、より多くの人に日々の幸せに気づいてもらいたいです。



佐々木 楓倫さん (地域おこし協力隊)

「自分だからこそできた」とはほんの数パーセント。残りはずべて支えてくれた人がいたからこそ。そんな大切な仲間がこの町にはたくさんいる——」70周年記念講演の講師をした松田さんが語った金ケ崎町の魅力です。

70年の節目を迎え、新たな次の一步を踏み出す金ケ崎が、その先に進むためには、金ケ崎に根ざしてきた人々の思いをつなぐ事が大切です。高橋町長は「70年の歴史があるからできること。今までつないできた人々の思いがあるから、10年、20年先、そして100周年を考えることができる」と話します。

金ケ崎に暮らす人、金ケ崎で働く人、金ケ崎を訪れる人、金ケ崎で学ぶ人、金ケ崎を楽しむ人が増え、そしてつながること。そこで生まれる交流や想いが次の金ケ崎を作っていく原動力です。みんなが金ケ崎を愛し、笑顔で輝き続けられる。みんなで支え合い、助け合いながら素敵な町にしていきたいでしょう。

70年のその先へ

2 住宅密集地の除排雪の改善

■住宅密集地の排雪作業

1 回程度 (R3 年度) → 体制を強化し 回数増 住民生活の維持

積雪で道幅が狭くなるなどの通行障害を減らすために、排雪作業の回数増を目指します。

また、近年は少雪傾向が続いていますが、局地的な大雪などの不測の事態に備えて排雪作業の受託業者増を検討し、体制強化を目指します。

3 除雪体制の維持

体制強化を継続し、本年度も16社と契約する予定です。また、さらなる作業効率化を目指し、除雪業者が安定して体制を維持できる契約手続きや経費算出、各社の担当路線見直し検討を継続します。これにより、除雪業者が保有する除雪機械や除雪オペレーターの人数が確保され、除雪体制が維持されます。今後も体制を充実させるために、除雪計画に新たな除雪業者の組み入れを検討し、引き続き体制維持に努めて参ります。

除雪オペレーター 確保・体制充実

除雪業者契約数
14 社 (R3 年度) → 16 社 (予定)

4 除雪情報の発信

町では新たな企業立地が進んでいる傾向にあり、雪の降らない地域から転居して来られた方もいらっしゃるかと思います。地域住民の皆さんをはじめ、新たな住民の皆さんにも除雪に対する理解を深めていただくため、町のホームページに雪対策のページを開設しております。除雪方法などの基本的な情報や町の除雪計画、冬期通行止め区間、雪捨て場の位置などが掲載されておりますのでご活用ください。

除雪への 理解度向上

○町道除排雪作業の事例
雪を取り除くために、様々な機械を使用して除排雪を行います。また、場合によっては人力による除排雪作業も実施します。

<p><新雪除雪> 除雪計画で定められた降雪基準により、除雪車が出勤し町道の除雪作業を行います。</p> 	<p><路面整正> 轍や融雪により路面状況が悪化した場合に整正作業を行います。</p> 	<p><運搬排雪> 路肩の雪により道路が狭くなった場合などに、溜まった雪を運搬して道路の幅員を確保します。</p> 
<p><歩道除雪> 通学路等の特に多くの歩行者が利用する区間は歩道除雪を行います。</p> 	<p><人力による除雪> 除雪機械で対応できない部分は、人力による除雪を行います。</p> 	<p><凍結路面対策> 急カーブ、急勾配区間等で路面凍結が予想される場合に、凍結防止剤やスリップ防止剤を散布します。</p> 

雪対策における重点的な取り組みを紹介します

町は令和4年度から毎年重点的な取り組みを掲げて雪対策を進めております。町の全域が豪雪地帯対策基本法に基づく「豪雪地帯」に指定されておりますが、令和2、3年度の大雪以降は少雪傾向が続いているところですが、しかしながら、大雪災害は毎年各地で発生しており、局地的・局時的な大雪に見舞われる地域もあります。災害は忘れた頃にやってくると言われております。

これまでの取り組みを継続し、有事に備えて雪対策に取り組みます。

1 幹線道路の除雪強化

令和4年度以降、除雪センターを2箇所増設し、除雪機械や融雪剤散布車を増台、町道と県道の除雪路線を一部交換するなど、主に幹線道路(図)の除雪強化を図って参りました。今後も除雪出動基準を目安とした適切な出動を継続し、冬季間でも住民の皆さまが安心して通行できる町道を目指して参ります。

円滑な交通を 確保

- 除雪センター
4箇所 → 6箇所 (R3年度)
- 除雪機械
48台 → 60台 (R3年度)
- 凍結抑制剤散布車
1台 → 2台 (R3年度)



▲散布車を増台

▶令和5年度 千貫石除雪センター 始動開始



▶令和6年度 遠谷市・二ツ森除雪センター 始動開始



○除雪の出動基準

幹線道路	その他の道路
気象予報などから 10cm に達すると予想された場合	降雪 10cm以上 ※安全確保のため、基準に達する前でも出動する場合があります。



地域の皆さんと協力した雪対策を目指します

町は、町道の除雪を中心に、少しでも皆さんの生活に支障が出ないように除雪に努めているところですが、個人宅の除雪は個人で行うことが原則となっています。

一方で、近年では家族構成や勤務形態の変化、高齢化などにより、個人の力だけでは除雪作業が困難となる人が増加しています。

こうした中、少しでも地域の中で助け合いによる雪対策を進めるため、町による支援策などについて、お知らせします。

■補助金を活用できます

地域協働雪対策支援事業補助金

町は、自治会等が地域の高齢者宅等の除排雪を行う場合、除雪機の燃料費を支援する補助制度を設けています。

■申請期間 11月28日(金)まで

■対象団体 自治会または自治会の班の単位以上の任意組織で自治会長が認める組織

■補助金額 上限3万円※燃料購入費のみ



▲詳細はこちら
(町ホームページ)

コミュニティ助成事業

地域で除雪機などを整備する場合、コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)を活用することができます。

ゴミステーション周辺の除雪や、消火栓周辺の除雪など、地域での除雪作業に活用している地域もあります。

地域で除雪機等の購入を検討している場合は問い合わせください。

■対象団体 自治会等

■対象 除雪機(乗用は対象外)

■助成額 上限250万円
(助成割合100%)

新たな助け合いの仕組みが必要です

すでに、隣近所の助け合いによる雪対策が行われている地域もありますが、そのような地域でも、高齢化や離農により、除雪機として活用していた農機具を手放す人が増えているなど、今後の雪対策への不安もあります。

このような中で、既存の仕組みだけでなく、地域の中で話し合いを重ねながら、さまざまな可能性を考え、地域と行政が協力していくことが重要になってきます。

問い合わせ先

■町道の雪対策(除雪) ▶都市建設課 雪対策室(内線2273)

■町道以外 ▶国道:岩手河川国道事務所 水沢国道維持出張所(☎24-2187)

▶県道:県南広域振興局 土木部(☎22-2881)

■地域で行う雪対策 ▶中央生涯教育センター(☎44-3123)

除雪作業にご理解とご協力をお願いします

町は、冬期間における安心・安全で円滑な交通を確保するため、重点的な雪対策の取り組みによって町道除雪を行い、皆さんの社会生活を支えて参ります。しかし、除雪機械の台数やそれを操作するオペレーター、時間にも限りがあり、皆さんの要望の全てを町で行うことは困難です。次の事項に留意していただき、除雪路線以外の除雪については、「自助・共助・公助」のもと、雪国の住人として雪と共存する皆さんによる「地域ぐるみ」(共助)での除雪にご理解・ご協力をお願いします。

■町で除雪する道路

◎町が管理する道路(町道)

※一部、県と道路を交換して除雪

※町道であっても、幅が狭い道路や行き止まりの道路、特定の個人のみ使用する道路や冬期間利用されない道路は除雪しません

町民と町、
双方の理解

□町が除雪できない道路

×町が管理していない私有(位置指定道路など)

×幅が4m未満の道路、砂利道

×行き止まりの道路

×特定の個人のみが利用する道路

×冬期間に利用されない道路

×国道、県道(国や県が管理)

皆さんにお願いしたい9つのこと

1 除雪車に近寄らない



除雪車は、道路状況によって右側を走行しながら除雪する場合があります。大変危険ですので絶対に近寄らないでください。

2 宅地出入り口の除雪にご協力を



除雪車は、車道の雪を道路の両端にかき分けて除雪します。住宅前や道路までの間口、ゴミステーションなどは、各家庭、地域で除雪してください。

3 物や宅地の雪を道路に出さない



宅地の雪を道路に出すと、道幅が狭くなったり路面がでこぼこになります。路面を悪化させ大変危険ですのでやめましょう。

4 路上駐車はやめましょう



路上駐車は、除雪作業の妨げや事故を誘発するので絶対にやめましょう。救急車などの緊急車両が通れなくなります。

5 道路沿いの樹木の伐採等について



道路にはみ出た樹木の伐採や撤去は、土地の所有者が行ってください。

6 スノーポール、砂置き場を設置します

スノーポールは、除雪作業の安全確保に必要です。絶対に取り除かないでください。

また、急な坂道などには砂置き場を設置しています。路面凍結時にご利用ください。

7 早めの冬タイヤ・チェーンの装着を



雪道への備えは万全ですか? まだ大丈夫という気持ちが重大な事故を招きます。

8 屋根の雪は片付けましょう



屋根から道路に落ちた雪は通行の妨げになります。屋根の雪止め設置をお願いします。落雪した雪は定期的に片付けましょう。

9 通行は歩行者優先



雪道は特に道路が狭くなります。児童・生徒や高齢者に配慮して通行しましょう。



まちの話題



笑顔で長寿を祝う 笑顔で迎える 100歳

坂井光子さん（川目）は10月3日、満100歳の誕生日を迎えました。自宅で行われた長寿祝品贈呈式では、家族や町関係者らが集まりお祝いしました。光子さんは故・清男さんと結婚。清男さんとともに農業に励みながら、3人の子どもを育て、孫6人、ひ孫6人、やしや孫2人に恵まれました。85歳頃までは長い坂を登って畑作業をしていた光子さん。現在も自宅で元気に過ごしています。この日は「あつという間に100歳を迎えました。なんでも好き嫌いせずに食べることが長寿の秘訣ですね」と笑顔を見せました。

家族に囲まれ笑顔を見せる光子さん（中央手前）



永岡小学校の受賞（左上）、永徳寺子供育成会（右上）、檀原子供育成会（左下）、永岡小学校での活動の様子（右下）



リ アルミ缶回収 全国優秀賞 サイクルを大切に

アルミ缶リサイクル活動を長年に渡り行ったことが認められ、アルミ缶リサイクル協会（東京都豊島区）から永岡小学校（佐藤真校長）へ、県内唯一の優秀賞のアルミ缶小・中学校回収協力者表彰が贈られました。同校では20年以上に渡り、総合的な学習の時間の一環として4年生が中心となり取り組み、益金は地域の福祉施設への寄付や購入した車いすを贈っています。六原のリサイクル業岩手カレットセンター株式会社（菅谷忠寿社長）が、同協会へ地域で廃品回収に取り組む永徳寺子供育成会（朝倉敏典会長）と檀原子供育成会（野上真衣会長）と共に推薦し、両会も一般回収者表彰で優秀賞に輝きました。

防 令和7年全国地域安全運動出動式 犯意識の向上へ

令和7年全国地域安全運動出動式（奥州地区防犯協会連合会主催）が10月10日に街地区体育館で行われました。奥州地区での地域安全に関わる多くの関係機関・団体が連携を図り、地域安全活動を積極的かつ効果的に展開することにより、安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。式では金ケ崎町防犯協会副会長の菊地康文さんが「地域の絆を活かした防犯活動を行っていきます」と決意を述べました。



決意表明を述べる菊地康文さん

目録を手渡す富川岩手県南支社長（左）



地 「私の地元応援募金」 地域をより元気に

町は、明治安田生命保険相互会社から寄附金603,600円の贈呈を受けました。同寄附金の贈呈は令和4年から続いており、今回で4年連続となります。寄附金は同社の「私の地元応援募金」で集められたもので、10月28日に行われた目録贈呈式にて富川公恵岩手南支社長から高橋寛寿町長へ手渡されました。

町 令和7年度金ケ崎町消防演習 の安全のために

金ケ崎町消防演習が10月19日、黒沢川せせらぎ公園で行われました。町消防団、少年消防クラブなど関係者が参加。町消防団の観閲や車両点検を始め、車両・建屋などからの救助訓練、放水訓練や子どもを対象にした消防体験、消防車両試乗などが行われ、関係団体が防災への理解を深め、備えの大切さを再確認しました。千葉正男団長は「町民に安心を届けられるよう訓練してきた。その思いを形にして、よい成果を発揮できる機会に」と述べました。

日頃の練習の成果を発揮する団員



金ヶ崎の秋

美味しいごはん
楽しいイベント
大満喫

郷土芸能発表会

10月26日



第43回金ヶ崎町郷土芸能発表大会（金ヶ崎町郷土芸能発表大会実行委員会主催、小野寺満会長）が10月26日、中央生涯教育センターで開かれました。町内の郷土芸能団体7団体と町外の招待団体2団体の計9団体が出演。神楽や太鼓、甚句踊、田植踊など、地域で大切に継承されてきた郷土芸能が発表され、来場者を楽しませました。

【出演団体】三ヶ尻神楽、金ヶ崎太鼓、三ヶ尻鹿踊、三ヶ尻甚句踊、三ヶ尻座敷田植踊、西根甚句踊、六原鬼剣舞

【招待団体】小田代神楽（奥州市）、湯本鬼剣舞（西和賀町）



産直かねがさき大収穫祭

10月11日

産直かねがさき大収穫祭が10月11日、同産直前で開かれました。来場者は新米の食べ比べのお振る舞いや旬の野菜などの秋の味覚を満喫。恒例の一升餅背負いでは、地元の子どもたちが元気よく歩き、会場は笑いに包まれました。伊藤雅章組合長は「金ヶ崎のいろいろな味を楽しみ、元気に過ごしましょう」と話していました。



産直ろくちゃん大収穫感謝祭

11月2日

産直ろくちゃん大収穫感謝祭（石母田勇作組合長）が11月2日、同産直前で開催されました。人気のそば打ち体験や野菜ゲット輪投げ大会が行われ、多くの来場者が参加し会場は大盛況。北上から祖母の高橋裕美子さんと訪れた齊藤啓太君は「輪投げが楽しかった。家でも野菜を残さず食べたい」と話しました。



第12回かもん金ヶ崎オーワングランプリ

10月18日

第12回かもん金ヶ崎オーワングランプリは10月18日、JR金ヶ崎駅前イベント広場で開かれました。今年は20店舗がエントリー。グランプリメニューにはトラットリアアプリミ（齊藤憲彦オーナー）の『和牛ビーフシチュー』が輝き、3連覇となりました。同グランプリには金高生によるボランティアも行われ、食の祭典は多くの人でにぎわいました。宮古市から家族と訪れた安藤由里ちゃん（5歳）と未希ちゃん（3歳）は「全部美味しい!」と笑顔で話しました。



交番だより

金ケ崎交番 永岡駐在所
(☎ 44-5227) (☎ 44-3310)

犯罪被害者等支援活動・犯罪被害給付制度
—11月25日から12月1日は「犯罪被害者週間」です—

警察では、犯罪被害に遭われた方やそのご家族が不安や悩みを抱え込まず、少しでも早く回復していただけるよう、相談に応じ、次の支援を行っています。

- 相談・捜査の過程における支援（被害者連絡制度等）
- 早期援助団体・関係機関と連携した支援（情報提供制度等）
- 経済的負担の軽減に関する支援（犯罪被害給付制度等）

相談窓口	連絡先
被害者支援の制度	岩手県警察本部県民課被害者支援室 電話：019-653-0110（代表）
一般的な犯罪の被害相談	最寄りの警察署にご相談ください。
性犯罪の被害相談	電話：#8103（ハートさん）または
性犯罪被害相談電話	電話：0120-797874（なくなはなして）

児童虐待防止対策の推進

—知らせよう あなたが あの子の声になる—

監護・養育をする児童に対して、暴力を振るう、わいせつな行為をする、世話を放棄する、暴言を吐くこと及び児童の目の前で行われるDV（ドメスティック・バイオレンス）は、児童虐待です。

昨年、岩手県警察が児童虐待の疑いで児童相談所に通告した児童の数は、延べ742人であり、依然として高止まりの状況にあります。

未来ある子ども達を守るため、虐待が疑われる場合には迷わず通報してください。あなたの周りに、

- ▶不自然なあざや傷が多い子
- ▶季節にそぐわない服装をしている子
- ▶家に帰りがらない子
- ▶いつも空腹にしている子 はいませんか？

また、子どもの泣き叫ぶ声や大人の怒鳴り声をする家はありますか？

■「児童虐待かも」と思ったら

- ◎児童相談所 全国共通ダイヤル 189（いちはやく）番
- ◎警察 奥州警察署または緊急時には110番へ通報をお願いします。

子育て支援課
金ケ崎町西根樋水 53

☎ 44-4611 FAX 47-3413

子育て広場

子育て支援課からのお知らせ

11月は「乳幼児突然死症候群（SIDS）」の対策強化月間です

乳幼児突然死症候群（SIDS：Sudden Infant Death Syndrome）とは、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児が睡眠時に死に至る原因不明の病気です。

この病気は、12月以降の冬期に発症しやすい傾向があることから、国は毎年11月を対策強化月間と定め、発症の予防に対する普及啓発活動を実施しています。

詳しくは、子ども家庭庁のホームページをご覧ください。



第40回「金ケ崎人の集い」

ふるさとへの風だより

10月26日（日曜日）、第40回金ケ崎人の集い（以下集い）は、東京のアートホテル日暮里ラングウッドで開催いたしました。

当日は、金ケ崎からも高橋町長、伊藤町議会議長をはじめ15名にお越しいただきました。ここに改めて深く御礼申し上げます。

今回の集いは、6年に亘り会長を務めた阿部敬氏から、4月に会長を引きついで及川への会長交替披露も兼ねたため、集い冒頭では、阿部前会長から退任挨拶と新会長紹介があり、その後新会長がステージに登壇しました。



▲新旧会長のバトンタッチ

壇し、新旧会長ががちり握手をしてバトンタッチをする演出も行われました。

会は、高橋町長からのご祝辞、高杉観光協会長他による来賓スピーチと続き、祝電およびお祝いメッセージでは、国会議員、花巻空港でFDAを運営する鈴木様などとともに、歌手の美川憲一様、福田こうへい様からのものも披露され会場が華やかなりました。

私はスピーチで、在京組織の役割について話しました。最も大切なのは、当日集いにお越しいただいた金ケ崎からのご参加者、在京ふるさと会および会員との交流の継続です。次に会員間コミュニケーション。そして今後取り組む一つとして、これから東京に進学、就職、転勤などで来る可能性のある在京予備軍への支援です。このような新しい取組みも必要と考えています。今後とも在京金ケ崎人会をよろしく願っています。

町立図書館
金ケ崎町西根西地蔵野 5

☎ 41-1900 FAX 44-5661
開館時間：10：00～18：00
※開館日・時間変更の場合あり

図書館だより

図書館からのお知らせ

児童企画展

「恐怖の無限列車～ねえ、こっちおいで。～」開催中!!

おなじみ児童列車コーナーが、この秋冬はちょっと不思議でこわ～い場所に!?ゾクゾクするようなホラー絵本やドキドキする異世界の物語をたくさん載せて「ねえ、こっちおいで。」と、みんなを待っています。怖いけど読みたい、読みたいけど怖い…それでもやっぱり読みたくなる、魅力たっぷりの本ばかりです!



information

■子どもおはなし会

テーマ「もうすぐ〇〇がやってくる」

- ▶開催日 12月27日(土)
- ▶時間 午前10時30分～
- ▶場所 おはなしコーナー



■一般企画展

「平谷美樹の世界 —100冊目を刊行して、そしてこれから—」

- ▶期間 11月18日(火)～令和8年2月26日(休)まで
- ▶場所 展示コーナー

■本のフリーマーケット

- ▶期間 12月19日(金)～21日(日)
- ▶時間 午前10時～午後6時
- ▶場所 特設コーナー（図書館内）

■12月移動図書館車「まなびい号」

23日(火)新田小沢商店前▶阿部農園前▶百岡公民館
24日(休)一の台▶瘤木公民館▶東町公民館

■12月と年末年始の休館日

毎週月曜日、28日(日)～令和8年1月5日(月)

広報暮らしのカレンダー

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
11/30	12/ 1 ♥眼科診療 ♥呼吸器内科診療	2 ♣乳児健診	3 ◎多重債務弁護士 無料相談 ♥神経内科診療 ♥整形外科診療 ♣1歳6カ月児健診	4 区長配布 ♥循環器内科診療 ♥婦人科診療	5 ♣子育て相談 ♣びよびよ (主に0歳児対象)	6 ♣子育て相談
7	8 ◎メンタルヘルス 相談日 ♥眼科診療 ♥呼吸器内科診療	9 ◎人権相談 ♣3歳6カ月児健診	10 ◎消費者救済資金 貸付相談 ♥神経内科診療 ♥整形外科診療	11 ♥循環器内科診療	12 ◎行政相談(街) ♥婦人科診療 ♣子育て相談 ♣とことこ (主に1歳児対象)	13 ♥土曜診療 (午前中のみ) ♣子育て相談
14	15 ♥眼科診療 ♥呼吸器内科診療	16 ◎多重債務弁護士 無料相談 ♣おやこ交流 DAY	17 ♥神経内科診療 ♥整形外科診療	18 広報発行日 (12月号) 区長配布 ♥循環器内科診療 ♥婦人科診療	19 ♣子育て相談 ♣びよびよん (主に2歳児対象)	20 ♣子育て相談
21	22 ◎メンタルヘルス 相談日 ♥眼科診療 ♥呼吸器内科診療	23	24 ◎こころの相談日 ♥神経内科診療 ♥整形外科診療	25 ◎町税等納期限 ♥循環器内科診療	26 ♥婦人科診療 ♣子育て相談	27 ♥土曜診療 (午前中のみ) ♣子育て相談
28	29 ♥内科診療 ※検査・X線は 5日以降	30	31	1/1 ※役場閉庁、 金ヶ崎診療所・歯科診療所休診 (12月27日～1月4日)	2	3

- ◎各種相談
- ◎行政相談 問 総務課(内線2313)
■時間・場所 10:00～12:00
- ◎メンタルヘルス相談
問 保健福祉センター(☎44-4560)
■時間・場所 9:00～17:00・保健センター
- ◎DV相談 問保健福祉センター(☎44-4560)
■時間・場所 8:30～17:00 保健福祉センター
- ◎こころの相談日(要予約)
問 奥州保健所(☎22-2831)
■時間・場所 13:00～15:00・奥州保健所2階
- ◎消費者救済資金貸付相談(相談日前週の
※までに予約) 問 住民課(内線2128)
■時間・場所 10:00～16:00・役場会議室
- ☆消費生活に関する電話相談 奥州市総合相談室
(☎34-2915) 平日9:00～17:00
- ◎多重債務弁護士無料相談(要予約)
■時間・場所 10:00～15:00・奥州市総合相談室
■予約先・問 奥州市役所(☎34-2915)
- ◎人権相談 問 住民課(内線2127)
■時間・場所 13:00～15:00・福祉センター
- ◎町税等納期限(12月納期分)
●町民民税(4期)、国保税、後期高齢者医療
保険料、介護保険料(6期)

- ◎各種診療
- ♥応援診療 問 金ヶ崎診療所(☎44-2121)
- ♥神経内科診療(予約制) ▶診察:13:45～16:00
- ♥眼科診療(予約制) ▶診察:13:45～16:30
- ♥循環器内科診療(予約制) ▶診察:8:45～11:30
- ♥整形外科診療(予約制) ▶診察:13:45～16:30
- ♥呼吸器内科診療(予約制) ▶診察:8:45～11:30
- ♥婦人科診療(予約制) ▶診察:8:45～11:30
- ♥土曜診療(内科) ▶受付:8:30～11:30
- ◎各種子育て支援
- ♣母子健康手帳交付・妊婦相談
■日時・場所 毎週月※要予約 子育て支援課
■受付時間 13:00～17:00
問 子育て支援課(☎44-4611)
- ♣おやこ交流 DAY
■時間・場所 9:30～11:30・保健センター
問 子育て支援課(☎44-4611)
- ♣あそびのひろば
びよびよ・とことこ・びよんびよん
■時間 10:00～11:30
■場所・問 子育て支援センター(☎44-3365)
- ♣保育士の子育て相談日 ※毎週金、土
■時間 10:00～16:00
■場所・問 子育て支援センター(☎44-3365)

- ▶奥州金ヶ崎休日診療所【12月当番医】
- 場所 奥州医師会館(奥州市水沢多賀21-1)
- 診療時間 8:30～12:00 13:30～16:00
問 診療日▶奥州医師会館(☎25-3935)
7日 阿部佐倉先生(さくらクリニック)
/14日 伊藤雄先生(いとうファミリー
クリニック) /21日 岩崎雅先生(桜井
医院) /28日 及川博先生(及川整形外
科クリニック) /31日 石川宥先生(石
川内科循環器クリニック)
※最新の情報は、奥州金ヶ崎行政組合の
ホームページで確認してください。
- ▶歯科休日診療所【12月当番医】
- 場所 各当番医の歯科医院
- 診療時間 9:00～12:00
- 受診方法 当番医院に連絡のうえ受診
7日 大手町歯科医院 51-8820(奥州市水
沢) /14日 はたけやま歯科 35-8811(奥
州市江刺) /21日 じゅん歯科クリニック
51-2118(奥州市水沢) /28日 高野歯科
クリニック 23-2488(奥州市水沢)
※最新の情報は、奥州歯科医師会のホーム
ページで確認してください。



町へ寄せられたご意見・ご提案に

お答えします



Cさんのご意見

藤巻-高谷野農業用水路周辺にクマが出る可能性もあり、
除草作業を毎年一回行ってほしいです。

農業用水路は土地改良区が管理主体であり、草刈り作業等の維持管理は、
地域の改良区会員である農家の方々が行っていきます。ただし、現在多くの地
域では人口減少や高齢化等の理由により荒廃農地が増加しており、農業用水
路、農地等での草刈り作業等を行うことが困難となっている実態もあります。
町と地域、土地改良区で新たな対応策の協議・検討を行い、今後も地域で
持続可能な維持管理体制を構築出来るよう努めてまいります。課題解決に向
けてアイデアも募集しています。

近年はクマと遭遇するリスクが急激に高まっていることから、庭にある果
樹の実は放置せず収穫・処分する、外出時は鈴やラジオ等音が出るものを身
に着ける、町や警察が発信するクマの出没情報を常に確認し、目撃情報のあ
った付近には近づかない等、日頃から出来る予防策の実施をお願いします。



高橋町長

金ヶ崎町国際交流協会コーナー

「英語でしゃべろう 2025 ハロウィン祭」

10月25日(土)に「英語でしゃべろう 2025 ハロウ
ィン祭」を開催しました。
外国人講師7人とスタッフを含む総勢89人の参加者
が集まり、外国人と対話し、ハロウィン工作なども楽し
みました。外国人講師が子ども達に語りかけ、子ども達
は、「Trick or Treat!」と呼んで、お菓子をもらったり、
「What's this?」のコーナーでは、子ども達の好きなキャ
ラクターを当てていました。今回はイラストの上手な外
国人によるフェイスペイントもあり、子ども達は列を
作っていました。外国人と対話しイベントを楽しむこと
で、外国の文化を知り、また外国人も同じ気持ちがある
という事を認識する良い機会になったのではと思います。
問 町国際交流協会(☎44-2099)
Mail kanegasaki.ifa@gmail.com



地域から元気を発信 生涯教育センターからの お知らせ

各地区生涯教育センターでは以下の講座を開催します。
ぜひ、ご参加ください。

枡アレンジメント#一合枡#お正月飾り

- 内容 一合枡にお正月フラワーアレンジメントをする
- 日時 12月22日(月)午前10時～正午
- 場所 永岡地区生涯教育センターふれあいホール
- 持ち物 花切りばさみ
- 定員 24人
- 講師 小原流 佐藤 郁子さん
- 参加費 1,200円(材料代)
- 申込方法 電話または窓口
- 申込期限 12月15日(月)
- 問 永岡地区生涯教育センター(☎44-6068)
平日午前8時30分～午後5時15分(水曜除く)

奥州エフエム(周波数 77.8MHz) で行政情報配信中・・・「インフォメーション金ケ崎」(月～金) ①午後0時47分～ ②午後5時49分～

田園バスの運行経路を冬期間(12月～3月)変更します

田園バスの一部路線が冬期間変更になりますので、ご利用の際はお気を付け下さい。

▶変更する路線:和光線、細野線

▶休止する停留所:和光線→潤沢、和光四組、南住宅

細野線→野崎(及川様宅)

■変更期間 12月1日(月)～令和8年3月31日(火)

バス運行への問い合わせ 共栄運輸株 (☎ 42-2126)

☎ 都市建設課都市計画係

(内線 2226)

2026年版岩手県民手帳を販売しています!

市町村の統計情報や祭り・行事など県政情報満載の手帳を販売しています。なお、「岩手県能率手帳」は、販売部数が減少したことなどにより、2025年版をもって発行を終了し、「岩手県民手帳」へ一本化となりました。

■販売期間 令和8年1月16日(金)まで

■販売場所 役場3階企画財政課、イオンスーパーセンター金ケ崎店

■価格(税込) 1,000円

☎ 企画財政課政策係

(内線 2326)

身体障がい者義肢・装具等補装具巡回相談のお知らせ

身体障害者手帳をお持ちの方で、補装具(車いす・義肢・装具など)の交付や修理等が必要な方は、この機会にご相談下さい。

なお、事前に申し込みが必要となりますので、希望される方は12月17日(火)までに保健福祉センターへ申し込み下さい。

■日時 令和8年1月16日(金)午前11時～午後2時(受付午前11時30分まで)

■場所 奥州市江刺総合支所(奥州市江刺大通1番8号)

■持ち物 身体障害者手帳、マイナンバーが分かるもの、印鑑 ※再交付や修理の場合は、現在使用している補装具等を持参して下さい。

■その他 巡回相談では、直接判定が必要な義肢及び電動車椅子を使用している方を優先としているため、場合によっては巡回相談ではなく、窓口での対応となる可能性もあるため、ご承知おき願います。

■実施主体 岩手県福祉総合相談センター

☎ 保健福祉センター福祉係

(☎ 44-4560)

施設利用休止のお知らせ

中央生涯教育センター及び各地区生涯教育センターは、下記の期間施設利用を休止します。ご理解のほどよろしくお願ひします。

■施設利用休止期間

12月26日(金)午後5時から

令和8年1月4日(日)まで

☎ 中央生涯教育センター総務係 (☎ 44-3123)

11月は「過労死等防止啓発月間」

11月は「過労死等防止啓発月間」です。厚生労働省では、その一環として「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施し、長時間労働の削減等の過重労働解消に向け、集中的な周知・啓発等に取り組むこととしています。

あなたは働き過ぎていませんか? 毎日の労働時間をこの機会に一度、見直してみましょう。



厚生労働省 HP ▶

☎ 岩手労働局労働基準部監督課 (☎ 019-604-3006)

「冬の交通事故防止県民運動」が始まります!

■期間 12月15日(月)～24日(水)までの10日間

■スローガン 「飲む前に車じゃないよね? 再確認」

■運動の重点

①スピードダウンの徹底 ②高齢者と冬休み中の子どもの交通事故防止 ③飲酒運転の根絶 ④冬道用タイヤ装着の徹底

■飲酒運転は絶対にやめましょう

外で飲む機会が増える年末年始、家族や同僚が飲酒運転をしていませんか? お酒を飲むときはお酒を飲まない人を決めて飲酒運転を避けましょう。また、自動車運転代行などを利用することで事故が防げます。「飲酒運転を絶対にしない、させない」を徹底しましょう。

■ハンドルキーパー運動を知っていますか?

全日本交通安全協会が平成18年から、警察や関係機関・団体の協力を得て、この運動を推進しています。内容は、「自動車で仲間や知人と飲食店などへ行く場合、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が自動車の運転をして仲間などを送り届ける。」というもの。「乗るなら飲むな、飲むなら乗るな」を実践する、飲酒した人にハンドルを握らせな

いという運動です。

■飲酒運転4(し)ない運動

- 1 運転するなら酒を飲まない
- 2 運転する人に酒を提供しない
- 3 酒を飲んだ人に車を提供しない
- 4 酒を飲んだ人の車に同乗しない

☎ 生活環境課(内線 2132)

料理講習会を開催します(定員各10人)

金ケ崎町民菜園パークでは、佐藤征臣さん(元コレットシェフ)を講師にお招きし、料理講習会を行います。受講希望の方は12月1日(月)までにお申込みください。

■日時 12月15日(月)午前9時(菜園パーク未利用者優先)、午後1時

■内容 チーズケーキ・オニオングラタンスープ

■参加料 1,300円

☎ (一社)金ケ崎町シルバー人材センター (☎ 44-3219)

金ケ崎町ふるさと宅配便受け付けます

『金ケ崎町ふるさと宅配便2025冬』の受付を本日から開始します。

詳しい内容は、金ケ崎町シルバー人材センターHP又は、全戸配布のチラシをご確認ください。

☎ (一社)金ケ崎町シルバー人材センター (☎ 44-3219)

戸籍の窓

～お誕生おめでとう～

赤ちゃんの氏名	保護者	行政区
まつもと まつと	理玖くん	檀原
こせき 小関	幸月ちゃん	川目
わたなべ 渡邊	允晴くん	横道
さとう 佐々木	文綾くん	荒巻

～ご結婚おめでとう～

婚 姻 者	行政区
平野 祐紀・美珠綺	谷地下
瀬戸 泰地・美優	檀原

～お悔やみ～

氏 名	年齢	行政区
佐々木 忠司	87	二の町
小澤 亮一	87	谷地下
小澤 干和子	70	川目
北條 忠龍	73	下永徳寺
菊池 啓公	68	改断
高橋 興悦	80	遠谷巾
阿部 弘子	84	上永徳寺
奥田 貞	93	荒巻
高橋 トシ	96	城内
芳賀 良子	78	清水端
菅原 千ヤ子	94	高谷野
佐藤 京子	68	谷地下
有住 玲子	90	清水端
久保 重雄	93	一の台
松本 謙慈	88	下永沢第一
小野寺 恵喜	73	横道下
及川 正信	69	野崎
小野寺 宏幸	54	長志田
高橋 若江	73	金森

10月1日～25日までの届け出分(敬称略・届出順) ※届け出時に広報への掲載を希望した人だけ掲載



葬儀・生花・法要
霊柩・花環

株式会社 **森幸**

金ケ崎町西根町裏22-1
TEL 0197-42-4531 FAX 0197-42-4532



リサイクルパーツ販売・事故車買取・廃自動車処理

株式会社サンケイ商会

TEL.0197-44-3531
FAX.0197-41-1000
〒029-4503 金ケ崎町西根中荒巻21-1



奥州エフエム(周波数 77.8MHz) で行政情報配信中・・・・「インフォメーション金ケ崎」(月)～(金) ①午後0時47分～ ②午後5時49分～

「多重債務個別出張相談会」開催のお知らせ

東北財務局盛岡財務事務所では、専門相談員による「多重債務個別出張相談会」を開催します。相談は無料で、事前予約制です。盛岡財務事務所は財務省の地方出先機関ですので、安心してご相談ください。

■日時 12月11日(木) 午前11時～午後3時

■場所 金ケ崎町役場1階101会議室

■内容 専門相談員が借入金等の個別相談に応じます。必要に応じて弁護士等の専門家に引継ぎます。

■申込期限 12月4日(木)正午まで

■予約先・☎ 東北財務局盛岡財務事務所多重債務相談窓口 (☎ 019-622-1637 (直通))

11(いい)月30(みらい)日は「年金の日」です

「ねんきんネット」では、ウェブでいつでも年金記録の確認や将来の年金受給見込み額を試算することができます。この機会に未来の生活設計を考えてみませんか。

☎ ▶「ねんきんネット」のこと: (☎ 0570-058-555)

▶その他のこと: 一関年金事務所 (☎ 0191-23-4246)

弁護士による無料法律相談会を開催します

金ケ崎町社会福祉協議会では、「弁護士による無料法律相談会」を開催します。相続・借金・消費者問題・家族関係の問題など法律にかかわるお悩みがある方は、ぜひこの機会をご活用下さい。

■日時 12月5日(金)午前9時～正午(相談時間はお一人約30分)

■場所 金ケ崎町福祉センター2階相談室、第2会議室

■対象者 金ケ崎町在住の方で、法律の相談を希望される方(完全予約制、定員6名になり次第締切とさせていただきます)

■弁護士 岩手銀河法律事務所 森崎信介弁護士

■申込方法 電話、FAX、直接来所(FAXの方は、住所・氏名・連絡先を記入して下さい)。

☎ 社会福祉法人金ケ崎町社会福祉協議会無料法律相談係 (☎ 44-6060、FAX44-6106)

11月は「労働保険未手続事業一掃強化期間」

「労働保険」とは、「労働者災害補償保険(労災保険)」と「雇用保険」を総称した言葉です。常勤、パート、アルバイトなどの名称や雇用形態にかかわらず、労働者を一人でも雇ったら、労働保険(労

災保険・雇用保険)の成立手続きが必要です。手続きを行っていない事業主の方は速やかに岩手労働局へご相談ください。詳細は、「労働保険特設サイト」でご確認ください。



詳細はこちら▶

☎ 岩手労働局総務部労働保険徴収室 (☎ 019-604-3003)

県の大規模事業についてご意見を募集します

県では、金ケ崎町内で実施予定の大規模事業について、事業実施が適切であるか評価しましたので、その内容について皆様からのご意見を募集します。

■対象事業 岩手県立農業大学校施設整備事業

■募集期間 12月11日(木)まで

■資料閲覧場所 県庁行政情報センター及び県民室、行政情報サブセンター、県公式ホームページ(サイト内検索で「パブリックコメント」と入力)等

■提出方法 事業への意見を記入し、郵送・FAX・メールのいずれかで提出

☎ 県政策企画部政策企画課 (☎ 019-629-5181 FAX019-629-6229 メール AA0010@pref.iwate.jp)

防火管理講習(オンライン講習)を始めました

防火管理者の資格取得のための講習をオンラインで実施しています。ご自宅や職場などから、パソコンやスマートフォンで受講できます。受講期間中は、好きな時間に自分のペースで学習できます。

■講習種別

▶甲種防火管理新規講習(講習時間:おおむね10時間)

▶甲種防火管理再講習(講習時間:おおむね2時間)

■受講できる方

▶岩手県内に居住又は勤務の方
▶岩手県内の事業所で防火管理に選任(予定を含む)される方

インターネットでの申込みとなります。詳細は、奥州金ケ崎行政事務組合消防本部のホームページでご確認ください。

☎ 奥州金ケ崎行政事務組合消防本部予防課 (☎ 24-7211)

厚生労働省認定事業

いちサポ就労相談(要予約)

就職活動の準備を何から始めたらいいのか相談に応じます。また、水沢出張相談も行っています。

■内容 コミュニケーションセミナーなどの各種講座、企業見学・体験を通して働く力、自信を引き出します。志望動機の書き方、面

接練習など個別に対応します。

■水沢出張相談日時 12月3日(水)、17日(水)午前10時～午後3時

■場所 奥州市まちなか交流館(奥州市水沢横町95)

■対象 49歳以下の求職者及び家族

■受付日時 平日9時30分～午後4時

☎ いちのせき若者サポートステーション (☎ 0191-48-4467)

オストメイト相談会を開催します

病気などにより人工肛門、人工ぼうこうを造設された人を対象に相談会を開催します。

■日時 12月6日(土)午後1時～4時

■場所 奥州市総合福祉センター2F大会議室(奥州市水沢南町5-12)

■対象 人工肛門、人工ぼうこう造設者とその家族、医療・福祉・介護関係者

■内容 講演、ストーマ装具の情報交換、紹介、災害時の対応、男女別グループ相談など

■申込 できるだけ事前に電話申し込み※予約なしの当日参加も可

☎ 公益社団法人日本オストミー協会岩手県支部 地区代議員佐藤 (☎ 090-9745-7733)

第60回奥州地区高等学校合同美術展のお知らせ

■展示内容 絵画、デザイン、立体、彫刻、工芸等

■日時 12月20日(土)午前10時～午後4時、21日(日)午前10時～午後2時

■場所 奥州市文化会館(Zホール)展示室

■入場料 無料
☎ 第60回奥州地区高等学校合同美術展実行委員会 (☎ 44-3206)

かもんカレーがさき

スタンプラリー2025開催!

■期間 11月20日(木)から令和8年2月15日(日)まで

■賞品 応募者の中から抽選で賞品プレゼント

▷カレーがさき賞(スタンプ9個)商品券1万円分 3名様 など

■参加・応募方法

①期間中に参加店舗各店でカレーを食べて、スタンプを貯めます。

②応募台紙に必要事項を記載し、町観光協会に郵送するか参加店舗備え付けの応募箱へ投函してください。

■応募締切 令和8年2月20日(金)必着

☎・申込先 金ケ崎町観光協会(西根伊勢分23-5) (☎ 42-2710)

宅地分譲サザン・プレイス

お申し込み受付中!

<http://www.ap-mart.com> E-mail: apmkt@topaz.ocn.ne.jp

有限会社 金ケ崎不動産

金ケ崎町西根東地蔵野23-5セントラル・コート1F TEL0197(41)1001 FAX0197(41)1002

相続登記に関するご相談は

佐藤司法書士事務所

金ケ崎町西根善生院20番地1
TEL 0197-27-2301
受付時間 平日9:00～17:00

バイバイ!! むし歯菌

むし歯のない3歳児

11月4日健診分①



いしかわ ひろよし
石川 昊義くん
(田園パーク)



ごとう あおば
後藤 蒼晴くん
(荒巻)



たかはし えいと
高橋 瑛門くん
(上平沢)



わたなべ おとか
渡邊 乙禾ちゃん
(谷地下)



あいさわ ゆの
相澤 柚乃ちゃん
(御免)



たかはし ひかり
高橋 ひかりちゃん
(町下)



おおひら なぎさ
大平 渚紗ちゃん
(和光)



きくち あおと
菊池 碧仁くん
(横道上)



たかはし なぎ
高橋 凧ちゃん
(金森)



さとう ふた
佐藤 楓太くん
(横道上)

食改さんの推しレシピ

問 保健福祉センター 元気100歳健康支援係 ☎44-4560

トマトカレー

フレイル予防 子ども



■1人分の栄養価

・エネルギー 545kcal ・たんぱく質 13.7g ・食塩相当量 2.5g ・食物繊維 6.1g

材料 (4人分)	
玉ねぎ	400g
トマト	300g
牛豚合いびき肉	160g
カレールー	(顆粒状のもの) 大さじ4
サラダ油	大さじ2
ごはん	150g
福神漬	適宜

作り方

- フライパンに合いびき肉を入れて炒め、余分な脂はキッチンペーパーで拭き取る。
- 玉ねぎはみじん切りにし、サラダ油をひいたフライパンであめ色になるまで炒める。
- 1.5cm角に切ったトマトを②に入れ、かき混ぜながらトマトの形が無くなるまで火を通す。
- ①も加えて混ぜ、トロリとしてきたら、カレールーを加えて仕上げる。

玉ねぎの甘み、トマトの酸味が自然な味わいのカレーです。材料を細かく切っているの、小さな子供やお年寄りでも食べやすいと思います。カレールーの辛さはお好みで。

町食生活改善推進員協議会 街支部

坂本 シゲ子さん



「令和7年度金ヶ崎町 20歳のつどい」開催のお知らせ

20歳を迎える皆さま誠におめでとうございます。

金ヶ崎町では、20歳の節目を社会全体で祝うとともに、郷土の素晴らしいを認識する機会とするため、「20歳のつどい」を次のとおり開催します。

なお、対象者には案内を送付していますが、参加の可否について左記二次元コードから必ず送信をお願いします。

■対象 平成17年4月2日〜平成18年4月1日生まれの方で、金ヶ崎中学校卒業生及び令和7年5月1日現在町内に住所登録があった方

▼申込期限 12月12日(金)

▼開催期日 令和8年1月11日(日)

(受付12時30分〜)

▼会場 金ヶ崎町中央生涯教育センター (金ヶ崎町西根南羽沢55番地)

問 中央生涯教育センター 社会教育係 ☎44-13123



▲申込フォーム



「第44回金ヶ崎マラソン大会」の参加賞Tシャツデザインを公募します

前大会のデザイン▶

今大会の金ヶ崎マラソンTシャツデザインを募集します。デザインは手書き、グラフィックソフトで作成したものなんでも構いません。

採用された作品は、町内の専門デザイナーがTシャツとして完成してくれます。絵が得意な方、苦手な方、年齢も問いません。走ることが苦手な方もTシャツのデザインを作成して金ヶ崎マラソン大会に参加してみませんか。

①応募資格 町内在住者・町内在学者・町内在勤者
②応募方法 郵送・窓口持参・電子メール (FAXは不可)
③募集期間 11月20日〜12月18日
④賞品 三千円相当の地元商品
⑤審査方法 実行委員会役員会にて審査
⑥結果発表 令和8年1月13日 金ヶ崎町ホームページにて発表

問 中央生涯教育センタースポーツ推進係 ☎44-13123

みずばしょうのさと リラックス 水芭蕉の郷 Relax

金ヶ崎町にリラクゼーションルームがオープン

- 全身もみほぐし基本コース70分……4,500円
 - 足リフレ40分(足裏~膝下まで)……3,000円
- クリーム使用でフットバス有

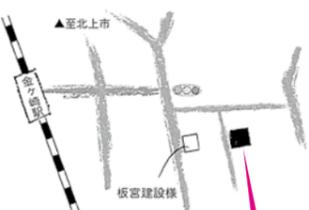
☆広報の広告ページ御持参の方、入浴剤かボディソーププレゼントします。



ご予約はこちら @MIZUBASHOUNOSATO

金ヶ崎町西根諏訪小路45-11
アインズ202号室

TEL.080-6020-9229 オーナー 齊藤 時勝



水芭蕉の郷 Relax

笑顔を作る住まいのお手伝い



お気軽にご相談ください!

- リフォーム
- 庭の舗装…など

株式会社 板宮建設

本社:奥州市水沢中町44
イーストジャパンビル3C



問い合わせ: 0197-42-2225 (金ヶ崎営業所)
金ヶ崎町西根矢来19 Email: info@itamiya.jp

ITAMIYA

板宮建設

で検索!

祝 令和7年 秋の叙勲

瑞宝単光章 消防功勞



何かあれば地域は自分たちが
守る強い信念で活動



たかはし しんいち
高橋 新一さん (70歳)
下永徳寺在住

元金ケ崎町消防団副団長。学校を卒業後、地域の工場で勤務。昭和53年1月～令和6年3月までの43年9カ月、町消防団で活躍。現在も金ケ崎町農業委員、胆沢平野土地改良区総代を務める。

「信頼してもらうためには、常に自分の仕事に対する姿勢を示すことが大切」と消防団での経験を話す新一さん。昭和53年1月に「地域の防災意識を高めたい」という信条で、金ケ崎町消防団に入団。43年以上にわたり、地域の安全を守るため奔走した。

入団後は、先輩団員から消防団員としての心構えを学び、「地域に密着しているからこそ、どんな時でも自分たちを信頼してもらうことが大切」と考えるようになった。

43年9カ月の団員生活で特に印象に残っているのは、平成17年に永沢地域で起こった3棟が全焼した火災。当時、第2分団副団長だった新一さんは、昼夜問わず団員への指示出しや消火対応に従事した。平成19年からは本分団長、23年からは副団長として、町内の住民を守るために一層の活動を行ってきた。退団した今でも新一さんを慕う後輩たちは多く、「今の環境にあっただややかたで、無理をせず怪我をしないように取り組んでほしい」とアドバイスを送っている。

受章の報告を受け、「名誉であり光栄なこと。自分がこれまでやってきた証を評価いただけた」と笑顔で話した。昭和55年に結婚し、いつもそばで支えてくれた妻の美恵子さんは令和3年に逝去。「苦劳かけたことも多かったけど、墓前の前で良い報告ができるかな」と感謝の思いを口にした。

広報日記



10月4日には新町誕生70周年記念事業を開催。多くの方々にお越しいただき、町の式典と一緒に盛り上げていただいた。皆様一人一人が金ケ崎町を作り、歴史を繋いできた結果だなど改めて感じている。

秋はイベントが多数あり、広報担当者1人ではなかなか回り切れない部分もあったが、それでも多くの会場に足を運び、金ケ崎町の良さを広められるようにと痛む右肩をかばいながら、写真撮影を行った。これからも「We loveかねがさき」の気持ちを忘れずにいたい。(千葉)

10月31日現在	
人口と世帯	※()内は前月比
人口	15,077人 (△28)
男	7,791人 (△14)
女	7,286人 (△14)
世帯数	6,648世帯 (△5)